

「地域と共にある学校」

各校の実践

第1号

# 地域と連携した教育

令和元年8月22日

南会津教育事務所

福島県教育委員会では、「頑張る学校応援プラン」の主要施策3で「地域と共にある学校」を掲げ、学校だけでなく、地域社会と学校が一体となって子どもを育てるとともに、学校も地域に貢献する体制づくりを積極的に進めております。

そこで、南会津教育事務所では、地域と連携した教育の実践を紹介し、それぞれの学校での実践に役立てていただきたいとの思いで、このおたよりを発行しました。地域と学校の連携のさらなる充実に向けて御活用ください。

## 充実した体験活動

只見町立朝日小学校では、只見町朝日振興センター及び地域の代表の方々と結成されている「朝日地区地域づくり委員会」（振興センターと共同して地域づくりを推進する団体）と連携して充実した体験活動を行っています。子ども達は地域の方の協力を得て、只見町の黒谷川河川敷で、「イワナつかみ体験」や「川の生き物探し体験」、「川流れ体験」をしました。



## 連携のメリット

- 現地をよく知るゲストティーチャーに教えてもらいながら、子ども達は身近にある川に親しみ、新しい発見ができています。
- 子ども達がより多くの地域の方と関わる機会を持つことができました。
- 準備・活動の面で、教職員の負担が軽減しています。（荷物の運搬、テント設営、「イワナつかみ体験」のためのいけす設置、イワナの塩焼き等）

## 参考にすべき点

- 地域づくり委員会や振興センターが児童を対象に体験させたい事業と既存の学校行事等を調整して「黒谷川なかよし活動」を計画しています。
- 地域連携担当教職員や地域づくり委員会の一員である校長が学校の窓口となり学校と地域で連携してできることを探り、学校だけでは運営上困難なことを関係機関の協力を得て実施しています。
- 地域の方の協力を得て、安全かつ充実した体験活動を実践しています。